

事業別の概況

■売上概況

●電池事業

アルカリ乾電池は、国内外で前期に獲得した新規顧客ならびに既存顧客への供給数量拡大により、前年同期を上回りました。ニッケル水素電池は、車載などの工業用途向けが増加したものの、市販用途向けが国内外で減少したことから前年同期を下回りました。リチウム電池は、欧米で防災機器・セキュリティ用途ならびに車載用途向けの需要が旺盛で供給数量が拡大したことから、前年同期を上回りました。

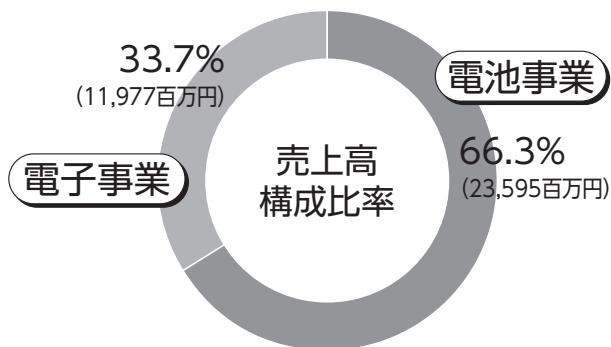
その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ4億31百万円減の235億95百万円となりました。

●電子事業

コイルデバイスは、民生・産業機器用途ならびにハイブリッド車用途向けともに堅調に推移し、前年同期を上回りました。液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、大型液晶TV用途ならびにネットブック用途向けなどの大幅な売上減により、前年同期を大きく下回りました。セラミックス部品は、デジタルカメラ市場の低迷などにより、前年同期を下回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ33億4百万円減の119億77百万円となりました。

■売上高構成比率



■売上高

